



安全対策委員会便り

NO.2 R3.6.22 発行
龍田西小学校 PTA 会長 村上弥生
安全対策委員長 伊藤芳枝

連絡事項

・通学路とは違う道を通るお子様があります。(特に1町内ヒルトップ幼稚園近くの緑の横断歩道を渡る児童) 通学路の確認をお願いします。また決められた通学路以外の事故はP災の対象になりませんのでご注意ください

・地図にある立ち位置の赤い丸印は目安です。向かい側や少し移動した方が交通指導がしやすい時はご自身の判断で立ち位置を決められてかまいません

・龍田西小 HP に安全対策委員会活動の動画をあげていますのでご確認ください(懇談会の時に流した動画です)

・8/30(月)～10/13(水)の当番は2年生・6年生保護者になります。該当学年にプリントを別紙配布します

・ご意見、ご質問等ございましたら下記まで連絡をお願いします
PTA 執行部アドレス
tatsudanishipta@gmail.com



登校当番

●立ち位置① (1町内)

- ・子どもたちがしっかり車を確認していました。車が止まってくれた時にはおじぎをしてお礼をする子どもが多くてうれしくなりました
- ・道路沿いにあるゴミ捨て場に車がとまるため追い越す車両でキケンを感じます

●立ち位置④ (2町内歩道橋下)

- ・小雨ではあったのですが、歩道橋で尻もちをつく感じで滑った子供がいました

●立ち位置⑥ (2町内小松ウォール角)

- ・下り坂を走って車を確認せずに渡ろうとする児童が1～2名いました。注意をうながしました
- ・⑥が2人になるので一本上の(小松ウォールと第3公園の間)道路に立ちました。第3公園側にゴミ置き場があるので、それを避ける為に道路の反対側に移動する子が多く危ないと思いました。ゴミ置き場を変更するか反対側を歩くようにするか要検討だと感じました
⇒ごみ置き場の移動は利用する方の合意、新たなごみ置き場探し、自治会の承認、市役所の許可が必要です。反対側に渡る横断歩道がないため、やはりゴミ置き場の前を通って従来の緑の横断歩道を渡る必要があります。当面は各家庭の注意喚起で対応していきたいと思います

●立ち位置⑧ (3町内もえぎ台入り口)

- ・朝から大雨でしたが、みんな縦に並び安全に気をつけて登校することができていました
- ・雨だったので走ったりする子もいなかったです。白線から大きく出て歩いている子には白線から出ないで!と声かけしました

●立ち位置⑩ (4町内)

- ・雨上がりで路面がぬれていたためか、車がカーブで減速して走っていたので安心しました。グループ毎に地域の方が引率してくださって、線の内側を歩くように等声かけしていただいていたありがとうございます

●その他

- ・未就学児(0才と2才各1名ずつ)がいる御家庭は当番の遂行は困難と考えます。同伴も危険性の面でできない上、留守番できる年齢でもなく核家族には特に困難でした
⇒大変な状況の中、旗当番にご協力くださり感謝申し上げます。それぞれのご家庭の都合で旗当番の協力が難しい場合は「当番ができませんでした」に○をつけて提出されてください。朝、お子様に「気をつけてね」と声かけをする、外出ついでに通学路に危険な箇所はないか気にかけるなど、児童の安心安全のためにできることで協力いただければ大変ありがたいです

※保護者の方のご意見ご感想は原文のまま掲載しています

編集後記

横断歩道で停止する車は、熊本県 25.7% (全国 21.3%) とのことです (JAF 調べ)

4 台中 3 台は横断歩道があっても止まらず走行していることとなります。横断歩道がある場所では車が来ていなくても、必ず止まって左右確認することをご家庭でもご指導ください

早い梅雨入りでしたので、保護者の方も傘をさしての登下校当番が多く、大変だったことと思います
ご協力に感謝いたします

「安全対策委員会便り」はスクールガードさん、自治協議会にも配布しています
「充実内容参考になりました」「子供達の安心安全につながりますね」「参考にしながら子供達の安全に気をつけたいと思います」と心強いお声をいただいています

児童の安心安全のために今後も登下校当番へのご理解ご協力のほどよろしく願い申し上げます



下校当番

- みんな歩道からはみ出すことなく帰れていました
- 雨がやんでいたのに傘で突っつきあって遊ぶ低学年の子たちが見られ、道路に飛び出さないかヒヤヒヤした
- みんな慣れてきて自分でしっかり班に集合し帰っていた。おうだん歩道の前ではみんなちゃんと左右確認して手を挙げ渡っていました
- スクールガードの方に見守って頂いて本当にありがとうございます
- 学校帰りの坂道で転倒して擦過傷を両膝に受傷した 1 年生に遭遇しましたが、子供達だけの下校時どう対応するのか (ケガなどあった場合) 気になりました。今日はスクールガードの方もいらっやらない状況でした

⇒子どもたちは、ランドセルから絆創膏をだして自分で対応、一緒に帰っているお友だちにティッシュで血をふいてもらう、学校から近い場所の時は一旦学校に戻り手当してもらう、お友だちの家が近い場合はその家の人を呼びに行く、スクールガードさんに対応してもらう、子ども避難の家に助けを求める、など臨機応変に対応しているようです

通学路でここまでだったら学校に戻る、絆創膏をランドセルに入れておく、子ども避難の家の確認など下校時困った時の対応方法をご家庭で決めておかれることをお勧めします

子ども避難の家

新たに「子ども避難の家」にご協力頂ける方を紹介します!!

～堀さま (3 町内 緑が丘公園前)～

「知らない家に入り込みづらい子ども達もいるかもしれません。でも安心してください。顔を見たら「あっあのおばちゃんの家か！」と思う子ども達も多いのでは (笑) コロナがない頃は本の読み聞かせなどで学校にお邪魔させて頂いていました。それに我が家には人なつっこいコンブという猫が住みついています。下校中の子供達の中にはこの猫を抱き一息ついて帰る子もいます。何か困ったことがあったらいつでも走りこんでください!!」

※トイレは登下校前に済ませましょう

※飲み物などを子ども避難の家の方に求めることはやめましょう

「子ども避難の家」にご協力いただける方を募集しています!!

(連絡先)

龍田西小学校 電話 096-339-6601

龍田西小 PTA 執行部 アドレス tatsudanishipta@gmail.com

※子ども避難の家の地図を学校 HP に掲載していますのでご確認ください